

インフルエンザ定点(小児科定点を含む)

インフルエンザ: 報告数は143件(前月比0. 2、前年比2. 8)でした。前月に続いて減少してきていますが、昨年同月と比較するとまだ報告数が多いです。
天草地区から95例の報告があり、小・中学校の年齢に多い報告です。

小児科定点

(全体傾向) 報告数は6, 711件(前月比1. 9、前年比1. 9)でした。手足口病が激増(前月比20. 5、前年比7. 8)しており、これが報告数増加の主な原因となっています。前月から増加傾向でしたが、6月に入って著明に増加しています。菊池、人吉、熊本からの報告が多いです。
ヘルパンギーナも増加しています。(前月比8. 1、前年比1. 7)

(疾患別傾向)

1. RSウイルス感染症: 7件(前月比0. 7、前年比1. 8)でした。今年に入り減少を続けています。例年並みの報告数です。
2. 咽頭結膜熱: 97件(前月比1. 7、前年比1. 7)でした。1月より前月まで減少傾向でしたが、今月は前月比1. 7と増加に転じました。例年より報告が多く熊本、菊池からの報告が多いです。
3. A群溶連菌咽頭炎: 348件(前月比1. 5、前年比1. 9)でした。5月に引き続き6月も報告数が増加しています。今後の推移に注意が必要です。
4. 感染性胃腸炎: 1, 377件(前月比1. 1、前年比1. 1)でした。3月からの減少傾向は終わり、微増しましたが、例年並みの報告数です。山鹿、菊池からの報告が目立ちます。乳幼児を中心に全年齢層の報告です。
5. 水痘: 592件(前月比1. 2、前年比1. 9)でした。昨年末から報告数が多く増減はありますが、例年より多い報告数が持続しています。人吉、宇城からの報告が多いです。
6. 手足口病: 2, 464件(前月比20. 5、前年比7. 8)でした。例年にない大流行です。菊池・人吉・熊本の報告が多いです。6カ月～5歳の年齢で95%を占めています。今後の推移に注意が必要です。
7. 伝染性紅斑: 148件(前月比2. 3、前年比0. 9)でした。1月以来例年より多い報告数ながら、3月より減少傾向でしたが、6月に入り再び増加してきました。特に有明地区からの報告が多いです。昨年と同じ位の報告数に増加してきており、今後注意が必要です。
8. 突発性発しん: 248件(前月比1. 4、前年比1. 3)でした。今年は1月から報告数が次第に増加し、6月の報告数は例年以上でした。
9. 百日咳: 2件(前月比一、前年比0. 3)でした。宇城からの2件で15～19歳の年齢です。
10. ヘルパンギーナ: 627件(前月比8. 1、前年比1. 7)でした。例年同様6月から増加してきていますが例年より急激に増加を示しています。7月にピークを迎える事が多く、今後の推移に注意が必要です。水俣・天草からの報告が多く6カ月～5歳の年齢で90%以上です。

11. 流行性耳下腺炎: 427件(前月比1.5、前年比1.4)でした。1月より例年より多い報告が続いている中、4月、5月は減少傾向でしたが再び増加に転じています。増減はありますが報告数は多いまま推移しています。山鹿・宇城からの報告が多く、1歳～7歳の年齢層に多いです。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎: 報告数1件(前月比—、前年比0.5)熊本からの報告です。
2. 流行性角結膜炎: 報告数54件(前月比1.5、前年比1.0)とやや増加しています。地区別では熊本51件、有明3件の報告です。年齢別では20代、40代、70歳以上に多発していますが、70歳以上の高齢者にピークがあるのはこれまで見られなかった状況です。

STD定点

1. 性器クラミジア感染症: 報告数 51件(前月比 1.4、前年比 0.8)で、前月比は増加し、前年比は減少しています。男女別は、男性13件、女性38件でした。年齢別は、男性は20～64歳に幅広く見られ、女性は15～34歳に多く見られます。地域別は、熊本が39件と多く、次いで宇城5件、御船4件、八代2件、有明1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症:
報告数 18件(前月比 0.9、前年比 0.9)でした。前月、前年比ともに減少しています。男女別は、女性が14件、男性4件で、女性に多く見られます。年齢別は、男性・女性ともに20～70歳に幅広く見られます。地域別は、熊本が7件、八代7件、御船3件、宇城1件でした。
3. 尖圭コンジローマ: 報告数 5件(前月比 1.0、前年比 0.7)で、前月比は同数、前年比は減少しています。男女別は、男性1件、女4件でした。年齢別は、男性は50～54歳で、女性は20～49歳に見られます。地域別は、熊本3件、次いで御船、八代各1件でした。
4. 淋菌感染症: 報告数 11件(前月比 1.8、前年比 0.6)で、前月比は増加し、前年比は減少しています。男女別は、男性が5件、女性6件でした。年齢別は、男性は15～69歳に幅広く見られ、女性は15～29歳に見られます。地域別は、熊本が11件でした。

基幹定点

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症:
報告数69件(前月比 1.4、前年比 0.9)でした。年齢は、50件(72%)は70歳以上でした。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症:
報告数2件(前月比 0.3、前年比 0.7)でした。場所は熊本1件、有明1件でした。年齢は0歳が1件、70歳以上が1件でした。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症:
報告は2件(前月比—、前年比—)でした。場所は熊本2件でした。年齢は70歳以上が2件でした。

4. 多剤耐性アシネトバクター感染症：
報告はありませんでした。

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎： 報告は1件(前月比一、前年比0.3)でした。場所は熊本1件でした。
2. 無菌性髄膜炎： 報告は5件(前月比一、前年比0.7)でした。場所は熊本5件でした。年齢は、1～4歳3件、5～9歳2件でした。
3. マイコプラズマ肺炎：
報告は11件(前月比3.7、前年比2.2)でした。場所は熊本5件、有明6件でした。年齢は、1～4歳1件、5～9歳4件、10～14歳2件、15～19歳1件、35～39歳2件、45～49歳1件でした。増加傾向にあり、今後の推移に注意が必要です。
4. クラミジア肺炎： 報告は1件(前月比一、前年同月比一)でした。場所は熊本1件でした。年齢は、5～9歳1件でした。

届け出対象感染症

- | | |
|--------------|---|
| 1類感染症： | 報告はありませんでした。 |
| 2類感染症： | 結核： 21件 |
| 3類感染症： | 腸管出血性大腸菌感染症： 15件
(O157: 2件、O26: 1件、O121: 1件、O18: 1件、型別不能: 10件) |
| 4類感染症： | 日本紅斑熱： 1件
レジオネラ症： 1件 |
| 5類感染症(全数把握)： | アメーバ赤痢： 1件
後天性免疫不全症候群： 1件
梅毒： 2件 |